

20200428ver.

Online授業 マニュアル





このマニュアルは、オンライン授業実施 の間、随時アップデートする予定です

- 1. Positive thinking *b*
- 2. オンライン授業とは
- 3. オンライン授業で活用する情報システム
- 4. オンライン授業の種類
 ①資料・課題提示タイプ
 ②オンデマンドタイプ
 ③リアルタイムタイプ
- 5. 事前準備機材
- 6. インターネット環境
- 7. 受講のためのアクセス
- 8. エントランス
- 9. 出席確認方法
- 10. 課題の提出方法

11. オンライン授業受講のための心得 ①オンライン授業は双方向的主体的 ②学修ペースの計画を立てる ③連絡方法 ④注意すべき事項 ⑤リアルタイム授業でのエチケット ⑥健康に留意する 12. 授業ツール GoogleDrive 13. 授業ツール YouTube 14. 授業ツール webex 15. リアルタイム授業時の注意 著作権に関する注意事項 16. 17. 図書館について 18. 0&A 19. チェックリスト



1 Positive thinkingを

- オンライン授業は、通常の対面授業とは異なる環境で受講することになります。
- 情報機器を操作して受講することになりますが、学生の皆さんに急に高度な要求を求めるものではありません。
- 例えば、資料提示・課題提出タイプの授業であれば、普段は口頭で説明していた内容を、学生が主体的に資料やテキストを読み解いて、課題に能動的に取り組むことで、対面授業とは違った学修効果が期待できます。
- リアルタイムタイプの双方向授業では、PC画面上で講義に参加することで、より内容を理解 することもできます。チャット機能を用いれば、普段の教室での受講よりも円滑なコミュニ ケーションを図れることもあるでしょう。
- オンライン授業への不安や、使い慣れないWeb機材使用のストレスもあるかと思いますが、 まずはできることから取り組んでみましょう。
- 初めての経験となることも多く、様々なトラブルも起こるかも知れませんが、課題受け取り や提出、リアルタイム授業でのトラブルなどに、各教員も十分に配慮し、皆さんに対応しま す。
- オンライン授業には対面授業とは違う良さがあるというポジティブな考えを持って、web上での実りのある授業を共に創造していきましょう。

2 オンライン授業とは

 ・オンライン授業は、インターネットに接続されたパソコン(デスクトップ型やノートPC)、タブレットPC、スマートフォンなどを用いて、 提示された課題や資料を元に学習する授業、授業動画や音声付スライド動画を視聴して課題に取り組む授業、リアルタイムに配信される画像・音声を視聴したり、参加してディスカッションするなどの方法によって受講するものです。

・本学のオンライン授業は、manaba(クラウド型教育支援サービス) を全ての科目の入口として用います。授業によって、授業形態は様々 ですが、皆さんはmanabaの履修科目コースへログインして、各担当 教員の授業方法の指示に従って、受講してください。

3 オンライン授業で活用する情報システム

本学では、**manaba**を中止に講義連絡、資料提示、課題提出等に用いながら、授業タイプによって様々な オンライン教育を支援するシステムツールを用います。



はmanabaの機能 1タイプの講義だけではなく、講義内容に応じてこれらの複数のシステムを組み合わせる授業もあります。

4 オンライン授業の種類

オンライン授業の代表的なものは以下の3つのタイプに分類されます。

オンライン授業の3タイプ	
①資料・課題提示タイプ	スライドやPDFなどの資料を教材として学ぶ授業
②オンデマンド配信タイプ	ビデオカメラで収録した授業動画や音声付パワポスライド 動画等を視聴して学ぶ授業
③リアルタイム配信タイプ	リアルタイム配信される画像・音声を視聴して学ぶ授業 <u>時間割で指定した時間帯に学生は受講します</u>

各科目では、それぞれの授業の特性のよって、担当教員が授業方法を提示します。 また、これらを組み合わせた複合的な授業となる場合もあります。





学生の皆さんは、必ずしも<u>時間割通りの時間に学修する必要はありません。</u>いつまでに内容を理解し,課題を提出すべきかは教員の指示があります。(一部は時間割通りの始業あり) 出席は課題や、リフレクションの提出をもって出席とするなど、教員が確認の方法を指示します。 講義資料に関する質問などは,e-mailあるいは個別指導コレクションを通じて行います。

②オンデマンド配信タイプ







学生は必ずしも時間割通りの時間に学修する必要はありません。いつまでに内容を理解し、課題を提 出すべきかは教員の指示があります。(一部は時間割通りの始業あり) 出席は、課題やリフレクションの提出をもって出席とするなど、教員が確認の方法を指示します。講 義ビデオの内容に関する質問などは、e-mailあるいは個別指導コレクションを通じて行います。

ミネ コースニュース



学生は必ず時間割通りの時間に学修します。 出席は講義時間内にレスポン(manabaの機能)の利用や講義参加者ログをもとに行います。 講義中に発言やチャット(webexの機能)などにより学生は質問を教員へ行うことができます。

5 事前準備機材

オンライン授業を受講するためにパソコン類などのメディア機器が必要となります。

● パソコン または、タブレットPC スマートフォン

オンライン授業では、パソコンが必要となります。スマートフォンでも受講可能なものがありますが、長時 間利用による健康被害の懸念や、機能制限のため、お勧めできません。

● マイク、webカメラ

パソコンでTV会議システム(webex)を使用する場合、必要となります。最近のノートパソコンは内蔵されていることが多いので確認をしましょう。マイク付きヘッドフォンも推奨します。

● その他特殊な機材を用意する必要がある場合は、授業で説明があります。

● インストールソフト

授業での配布資料は、pdf,word,powerpoint,excel等となります。PCにインストールされているソフトを確認 しましょう。

リアルタイム授業は、本学ではcisco社webexを利用します。必要に応じてwebサイトよりダウンロードして インストールしておくとよいでしょう。

*プリンターがあることが理想的ですが、必須ではありません。教員も必ずしもプリントアウトを前提としない授業ができるような工夫を考えています。











6 インターネットの環境

- オンライン授業受講のためのインターネット接続環境を確認しましょう。
- 講義資料のダウンロード、動画視聴のために、十分な通信量が必要となりま す。自宅でLAN環境、Wi-Fi環境、通信量契約内容を確認してください。
- スマートフォンのテザリング機能を利用して、PCやタブレットをインター ネットに接続することも可能です。現在、携帯事業各社が25歳以下を対象に したデータ量無償支援も行っていますので、ご確認ください。
- リアルタイム配信授業では、映像、音声データのリアルタイムでの相互通信
 となりますので、より安定した通信環境で受講することが望ましいです。
- YouTubeによるストリーミング視聴では、設定によって画質を下げることで、 通信量軽減などの工夫も行ってください。



:





7 受講のためのアクセス



下記の手続きを行い、オンライン 授業のための準備を進めます

• 履修登録期間

板橋4/21~5/4 狭山 4/23~4/29

manaba登録キー公開

4/30~ MyCampusで確認

• manabaでの履修科目コースへ の登録 授業内容確認

板橋4/30~5/6 狭山4/30~5/4

狭山5/7

・オンライン授業開講

板橋5/9

8 エントランス manabaのコース画面

オンライン授業で始まる前期・1期の全ての科目は、manabaで授業方法や内容を連絡しますので、 各自コース登録を行って(4/30以降)確認してください。



9 出席確認方法



上記に示した方法の他に、複数の組み合わせやそれ以外での出席確認方法もありますので、各科目にて確認してください。

10 課題の提出方法

- •レポート機能のコメント欄への記入
- •レポート機能のファイル添付機能の利用
- •小テスト機能の利用
- プロジェクト機能の利用
- E-mailによるファイル添付の利用
- Google Driveによるファイル提出の利用



上記の例の他、各科目によって、様々な課題と提出方法が指示され ますので、それぞれ確認してください。

11 オンライン授業にあたっての心構え

①オンライン授業は双方向的・主体的に

オンライン授業は、教員が一方的に講義内容を発信するものではありません。学生の皆さんが、それぞ れの授業に積極的に取り組めるよう、質疑応答や学生の意見の交換の機会も設定します。決して受動的 にならずに、主体的に自分の意見や考察、質問などを挙げ、充実した授業を共に創っていきましょう。

資料・課題提示タイプ、オンデマンド配信タイプの授業

授業配信中に質問や意見交換を実施することは困難ですので、対面授業に相当する教育効果を担保する ため、授業の終了後すみやかに、質疑応答や意見交換の場をmanabaの掲示板、個別指導コレクション 機能などで行います。

リアルタイム配信タイプの授業

授業の実施中に質疑応答や意見交換、チャットを行うケースや、授業の終了後に質疑応答や意見交換の 場を設ける場合などがあります。

・ 講義ノートを取る

オンライン授業は視聴が中心となるため、受動的になりがちです。状況は違っても、対面授業と変わら ず、講義ノートを取ることが、学修した内容を自分自身がまとめるために重要になります。講義の内容 を理論的にまとめ、自分の考えを整理し、事後学習のために活用することで主体的な学びとなるよう努 めてください。

②学習のペースの計画を立てる

- リアルタイム授業やほか一部の授業では、時間割通りに開講されますが、それ以外の授業の課題は、自分で学修計画を立て、無理の無いペースで課題に取り組めるよう進めてください。
- 全国的なオンライン授業やテレワークの影響により、通信障害が発生することも懸念されます。健康に留意しながらも、インターネットにつながりやすい時間帯(早朝など)を有効活用すると良いでしょう。
- オンライン授業では、それぞれの科目によって課題の提出方法、期限が異なります。履修科目をよく確認して、「何をいつまでに行い、 提出すればよいのか」、期限を守って提出できるよう学習のスケジュールを管理してください。



- 対面授業のように、教室で質問をすることができないため、どのように質問をしたらよいか、各科目担当教員がmanabaのコースニュース欄に明記します。
- 主には、manabaの個別指導コレクションを用いれば、履修者からの質問に教員が回答するなど相互のコミュニケーションを図ることができます。
- ・授業によっては、E-mailでの課題提出や個別指導もあります。その際の教員への連絡は、大学から付与されているメールアドレスxxxxx@tokyo-kasei.ac.jpを必ず利用してください。スマートフォンに、Gmailアプリをインストールし、大学メールのアドレスとパスワードでログインすれば、今後の連絡にも活用できます。

④注意すべき事項

- あなた自身や、クラスメイト、そして教員のプライバシー保護に十分配慮してください。
- ・授業で提示された教材や講義資料、動画、およびそれらへのアクセス方法 を<u>無断で第三者へ教えたり、SNS上に公開したり、再配布することは違法</u> 行為ですので、取り扱いには十分に注意してください。
- リアルタイムタイプ授業のアクセス方法やURL等が拡散すると、第三者によるいたずらや授業妨害を受けるなどの危険性があります。また、授業の様子を担当教員の許可なしに無断で録画することは禁止です。
- ・以上の行為は著作権やプライバシーの侵害にあたります。オンライン授業は、特定の授業の履修者のために限定的に様々なデータを配信していることを理解し、ルールを守って授業に参加してください。

⑤リアルタイム授業でのエチケット

- オンライン授業は主に自宅で受講することになるかと思います。その場合でも互いにマナーを守って参加しましょう。
- リアルタイム授業では、科目によっては、カメラを用いて互いに交流することもあります。カメラには、自分の姿の他、様々なものが 映り込みます。特に自分の背後にあるものも写りますので、十分注 意してください。小さな画面を見ていると気づかなくとも、大画面 で見ると様々なものが映り込んでいることもあります。
- ・授業の形態に関わらず、学生のプライバシーには配慮をします。学生の皆さんも他者のプライバシーへ配慮するよう心掛けてください。

⑥健康に留意する

- オンライン授業では、PCやタブレット、スマホなどの画面に注 視する時間がどうしても長くなります。
- 長時間の視聴は、健康被害や視力障害の他、心身へ様々な影響
 を与える可能性があります。
- 集中力維持・及び視力、健康面への配慮のため、定期的に休憩をしましょう。
- 動画の視聴は長くとも15分以内にして、5分程度は画面を見なくて済むような休憩や、ノートへの書き込み作業へ切替るなど自己管理を行いましょう。



12 オンライン授業ツール GoogleDrive

- GoogleDriveとは、Googleが提供するオンラインストレージサービス(クラウド)であり、本学は@tokyo-kasei.ac.jpのドメイン取得によって、教職員・学生が利用できるサービスとなっています。
- manabaに提示できるデータの容量には制限があるため、大容量の 資料データや動画などのファイルは、GoogleDriveへ保存し、リン クをmanabaへ貼り付けることで、履修者はそのデータにアクセス することができます。
- 特に取り扱いに注意が必要なデータは@tokyo-kasei.ac.jpのアカウントでしか閲覧できない設定をする場合があります。この場合、GoogleもしくはGoogleDriveに大学から付与されたメールアドレスとパスワードを用いてログインした後、閲覧してください。



13 オンライン授業ツール YouTube

- YouTubeとは、Googleが提供する動画配信サービスです。オン デマンド配信タイプの授業では、YouTubeへ公開した動画のリ ンクをmanabaへ貼り付け提示することで、履修者はYouTube 上で動画を視聴することができます。
- YouTubeはストリーミング配信されるため、視聴中に通信量が かかります。動画の内容によっては、設定→[画質]を落とす ことによって通信量削減の工夫も可能です。
- オンライン教育の一環として、履修者のみに限定公開される教 材であること認識してください。第三者やSNSへの共有、チャンネル登録、録画、コピーは禁止とします。



Webex Meetings

14 オンライン授業ツール webex

- Webexについて本学のリアルタイム授業では、web会議システムツールとしてCisco社のwebexを採用しています。
- 参加方法 教員から指示のある次のA), B)のどちらかで講義に参加します
- A) 講義参加用URLが提示された場合 (次のどちらかの方法で参加)
 - パソコンの場合:WebブラウザでURLを表示
 - パソコン、スマホ共通:<u>Webex Meetingsアプリ</u>を起動し、ミーティング情報欄へURLを入力 初めて利用する場合はアプリを指示に従ってインストールしてください
 - 表示される指示に従って操作(プレビュー画面でミーティングに参加, Start Meetingなどのボタンをクリック)
- B) (<u>ミーティング番号またはセッション番号</u>) + <u>パスワード</u>が提示された場合
 - パソコンの場合:東京家政大専用サイト(kasei.webex.com)へWebブラウザ(Chrome, Firefoxなどを推奨)からアクセス
 - 「ミーティング情報」に(ミーティング番号またはセッション番号)を入力し、Enterキーを押す
 - パスワードを入力しOKボタンをクリック
 - Meetingに参加(Webex meetingの場合), 今すぐ参加(Webex Trainingの場合)をクリック
 - スマホの場合: Webex Meetingsアプリで(ミーティング番号またはセッション番号)とパスワードを入力
- リアルタイム配信タイプの授業は、教員側や各学生側のインターネット接続環境やパソコンのトラブルなどが発生する 可能性があります。事前の環境や使用方法を確認してください。
- 開講前までに**接続テスト期間**を設けますので、各自参加してください。

15 リアルタイム授業時の注意

- 授業には余裕を持って<u>10分前~5分前</u>には接続しましょう.
- 他の授業も受講している学生もいますので、時間割通りにおこないます。万が一、 開始時間を変更をする場合は、必ず教員が学生へ確認をとります。
- <u>静音な環境で受講して</u>ください。授業中は自分の声とともに、周りの音も他者に 聞こえることがあります。普段では気にならないような音(例:ペットの鳴き声 など)も、他者には気になることもあります。マイクとイヤホンがついたヘッド セットを利用すると、比較的このような周囲の雑音を排除できます。
- ・授業を視聴する場合や、他者の発言を聞く場合には、必ずミュートにしてください。エコーが発生し、聞き取りにくくなります。教員が受講学生のマイクをコントロールする場合もありますので、指示に従ってください。
- インターネットの特性上、遅延が発生することがあり、音声が再生される際に乱れたりすることがあるので留意してださい。

16 著作権に関する注意事項

- 著作物の取り扱いについては、著作権法によって定められています。
- 改正著作権法35条では、大学での科目教員及び受講者が、<u>授業の過程で使用する目的のため</u>に必要とされる公表された著作物をコピーすることや、インターネット上で送信と受信により伝達することが認められています(改正著作権法35条)(全てではありません)。ただし、著作権者の利益を不当に害することとなってはいけません。
- ・学生の皆さんがレポートや課題を制作する際に、公にされた著作物を引用したい場合には、 ルールの範囲内でのみ利用することが可能です(著作権法32条)。

①著作物の引用に必然性があること
 ②引用部分にかぎ括弧をつけるなどして、自分の文章と
 区分されていること
 ③出所が明示されていること

これらのことを遵守して、レポートや論文へ正しく引用してください。

参照

https://forum.sartras.or.jp/wp-content/uploads/unyoshishin2020.pdf

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

17 図書館について

- 大学休業の期間、学生の皆さんが学内へ入構することはできませんが、本学図書館では、皆さんのオンラインでの学修を支援します。
- 本学図書館のHPでは、学外からアクセスできる 電子リソースへのナビゲートページを作成して います。期間限定の電子リソース及び学認 (Shibboleth)を通してアクセスできる電子リ ソースの案内をしていますので積極的に活用し てください。

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/library/post.html



板橋図書館





18 Q&Aについて

- オンライン授業にあたり、学生の皆さんの様々な質問に対して、 Q&Aを作成しています。
- •本学HPトップ【重要なお知らせ】にて、公開していますので、 確認してください。
- 情報は随時更新されますので、定期的にチエックしてください。

19 チェックリスト

オンライン授業の準備は出来ましたか?以下のチェック表で確認しましょう

□事前準備・環境 → パソコン周辺機器、通信環境は確認
 □履修登録→履修登録を終え、My時間割で確認
 □manabaコース登録→登録キーを持ちいてmanaba でコース登録
 □受講のためのアクセス確認 manaba,Google,Drive,YouTube,webex
 □受講に必要なアプリケーション AcrobatReader,Word,PowerPoint Excel,webex,etc

□オンライン授業にあたっての心構え

■著作権やプライバシーの理解

■Positive thiking